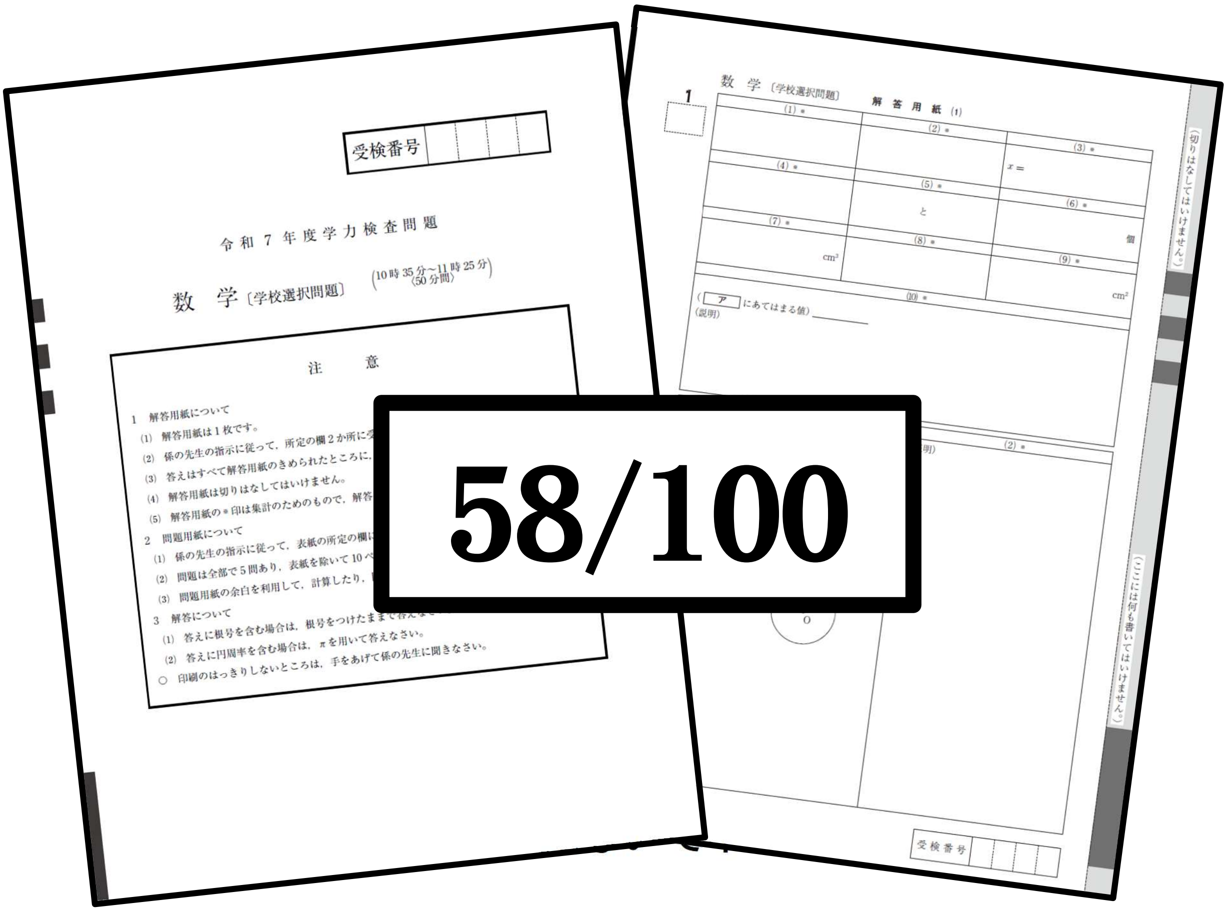
EIMEIグループ受験対策講

学校選択問題の小問②

こたえ冊子

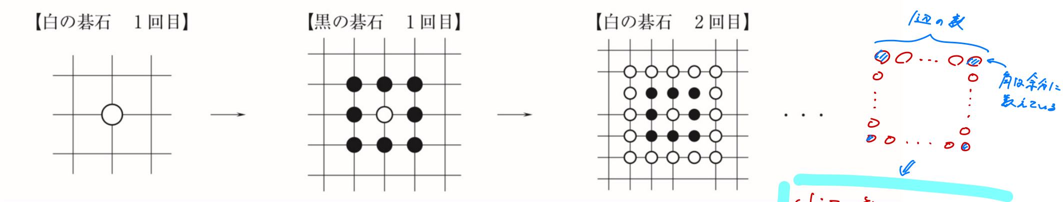


校舎（　　　　　　）名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※問題冊子のテキストに挟んでおきましょう

2025.07.01 (火) こたえ

3 白と黒の碁石(ごいし)を使って，碁盤(ごばん)に碁石を置いていく。下の図のようにまず白の碁石を1個置き，次に黒の碁石を白の碁石を囲むように置いていく。それらをそれぞれ白の碁石の1回目，黒の碁石の1回目とする。以降，白の碁石が黒の碁石を，黒の碁石が白の碁石を囲むように1回ずつ規則的に置いていくとする。次の問いに答えなさい。



(1辺の数)×4−4
で追加数を求める!!

（1）　黒の碁石の2回目を置き終えたとき，碁石の総数を求めなさい。

1辺の数の2乗 → 1辺7の 49個

（2）　白の碁石の3回目を置き終えたとき，白の碁石の総数を求めなさい。

1回目1個，2回目 $5\times4-4=16$個追加，3回目 $9\times4-4=32$個追加　$1+16+32=49$個

（3）　黒の碁石の4回目を置き終えたときの碁石の総数は，白の碁石の4回目を置き終えたときの碁石の総数より何個多いか求めなさい。

1辺の数は15なので　$15\times4-4=56$個

※白4回目 → 黒4回目の値なので，黒の1辺の数が分かっていればいい

（4）　黒の碁石のn回目を置き終えたときの碁石の総数は，白の碁石のn回目を置き終えたときの碁石の総数より何個多いか。nを用いて表しなさい。

出典:2021 大阪学院大学高校

黒を置く回	1	2	3	…	n
置いたときの1辺の数	3	7	11	…	$4n-1$個

↳ $(4n-1)\times4-4=16n-8$個

2025.07.02 (水) こたえ

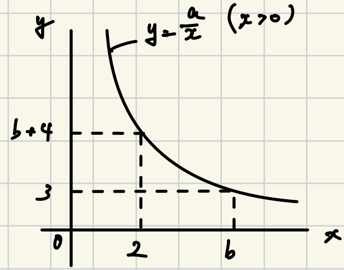
関数 $y=\dfrac{a}{x}$ でxの変域が2≦x≦bのとき、yの変域が3≦y≦b+4である。
このとき、a,bの値を求めよ。

出典:2021 近畿大学附属

どちらも正の範囲のはなし

⇒ 座標の右上の領域のはなし

つまりグラフは右下がり



図より $(2,\ b+4)$, $(b,\ 3)$ を通るので

$$\begin{cases} b+4=\dfrac{a}{2} & \text{— ①} \\ 3=\dfrac{a}{b} & \text{— ②} \end{cases}$$

②より $a=3b$, ①に代入して

$$b+4=\frac{3}{2}b \Rightarrow b=8$$

②に代入して $a=24$

よって $a=24,\ b=8$

2025.07.03(木) こたえ

100以上の整数で、7の倍数であるものを小さい方から順に並べたとき、n番目の数をnを用いて表せ。

出典:2024 池田

$$\begin{array}{cccccc} 1 & 2 & 3 & 4 & & n \\ 105, & 112, & 119, & 126, & \cdots & \end{array}$$

$$\underbrace{+7 \quad +7 \quad +7 \quad +7 \cdots +7}_{n-1\text{回「}+7\text{」をしている}}$$

n番目は $105+7(n-1) = \underline{7n+98}$

2025.07.04(金)こたえ

関数$y=-\frac{a}{x}$において、xの値が2から5まで増加するときの変化の割合が$\frac{2}{5}$であるとき、定数aの値を求めよ。

出典:H31 青雲

$x=2$のとき、$y=-\frac{a}{2}$

$x=5$のとき、$y=-\frac{a}{5}$

$\Rightarrow$

xの増加量は $5-2=3$

yの増加量は

$\left(-\frac{a}{5}\right)-\left(-\frac{a}{2}\right)=\frac{3}{10}a$

より変化の割合は $\frac{3}{10}a\div 3=\frac{1}{10}a$

これが$\frac{2}{5}$に等しいので $\frac{1}{10}a=\frac{2}{5}$

$a=4$

2025.07.05 (土) こたえ

5個以上の約数をもつ自然数nについて、その約数を書き並べたものをnの約数データとよぶことにする。例えば12の約数データは「1,2,3,4,6,12」である。

(1) 48の約数データにおいて、メジアン(中央値)を求めよ。
(2) nの約数データにおいて、レンジ(範囲)が63であるとき、四分位範囲を求めよ。

出典:2024 淑徳与野 第1回

(1) 48の約数は 1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 16, 24, 48 の10個

中央値は 5, 6番目 より $\frac{6+8}{2} = \underline{7}$

(2) 約数の最小は必ず1なので

範囲が63 ⇒ 1から64 つまり n = 64

約数データは 1, 2, 4, 8, 16, 32, 64

第1四分位数　中　第3四分位数

よって 四分位範囲は $32 - 2 = \underline{30}$

2025.07.06(日) こたえ

2 中学校で学習した展開の公式 $(x+a)^2=x^2+2ax+a^2$ を用いて，工夫して計算をする。このとき，次の各問いに答えよ。

（1） 31^2 を，次のように求めた。空欄①，②，③に適した数字を入れよ。

$$
\begin{aligned}
31^2 &= (30+1)^2 \\
&= \boxed{①}^2 + 2\times1\times\boxed{②} + 1^2 \\
&= \boxed{③}
\end{aligned}
$$

① 30　② 30　$= 900 + 60 + 1$

③ 961

（2） （1）を参考にして，1010^2 を工夫して求めよ。ただし，解答に至るまでの途中式も書け。

$= (1000+10)^2 = 1000^2 + 2\times1000\times10 + 10^2$

$= 1000000 + 20000 + 100$

$= 1020100$

（3） （2）で求めた値を利用して，2020^2 を次のように求めた。空欄④，⑤に適した数字を入れよ。

$$
\begin{aligned}
2020^2 &= (2\times1010)^2 \\
&= \boxed{④}\times1010^2 \\
&= \boxed{⑤}
\end{aligned}
$$

④ 4

⑤ $4\times1020100 = 4080400$

（4） $9090^2\div2^2\div3^4$ を計算せよ。

出典:2020 東京純心女子

$9090^2\div2^2\div9^2$

$= (9090\div9)^2\div4$

$= 1010^2\div4$

$= 1020100\div4$

$= (1000000+20000+100)\div4$

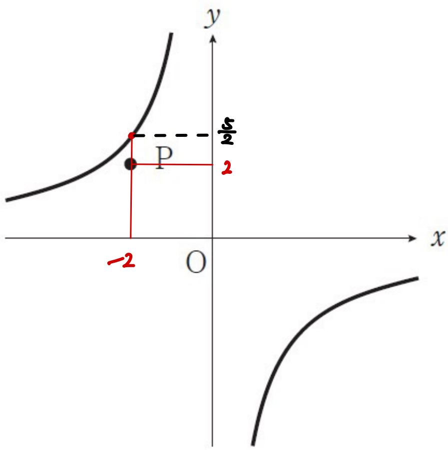
$= 250000 + 5000 + 25$ $= 255025$

2025.07.08 (火) こたえ

(4)　次の図は，反比例のグラフである。
点Pの座標が$(-2,\ 2)$であるとき，
グラフの式として，最も適当なものを
(ア)〜(エ)から1つ選びなさい。

~~(ア)~~　$y=\dfrac{2}{x}$　　~~(イ)~~　$y=\dfrac{5}{x}$

(ウ)　$y=-\dfrac{5}{x}$　　(エ)　$y=-\dfrac{2}{x}$



出典:2023 大阪産業大付属

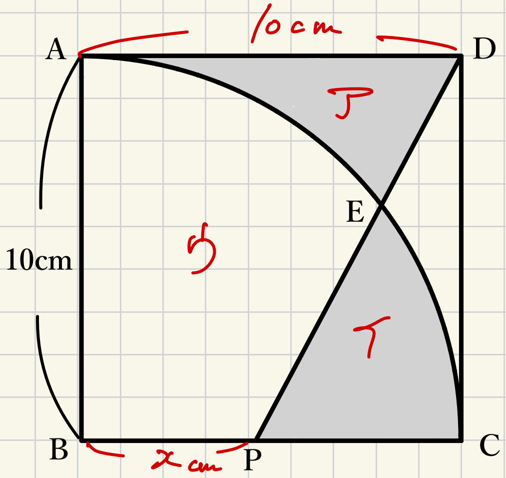
- グラフの形から比例定数は負 → (ア),(イ)は×
- $x=-2$を代入したときのy座標をみると
  (エ)は$y=1$と点Pより下にあるので　(エ)は×

(ウ)

2025. 07. 10 (木) こたえ

下の図のように、1辺の長さが10cmの正方形ABCDがあり、辺BC上に点Pをとり、線分DPと、頂点Bを中心とする弧ACとの交点をEとする。このとき、弧AE, 線分AD, DEで囲まれた部分の面積と弧CE, 線分CP, PEで囲まれた部分の面積が等しくなるような、線分CPの長さを求めなさい。
※

出典:2022 江戸川女子 B推薦



左図で ア ＝ イ であるから

ア ＋ ウ ＝ イ ＋ ウ でもある

台形ABPD ＝ おうぎ形ACB

よって

$(10+x)\times 10\times \frac{1}{2} = 10^2\times \pi\times \frac{90}{360}$

$50+5x = 25\pi$

$x = 5\pi - 10$ ← BP

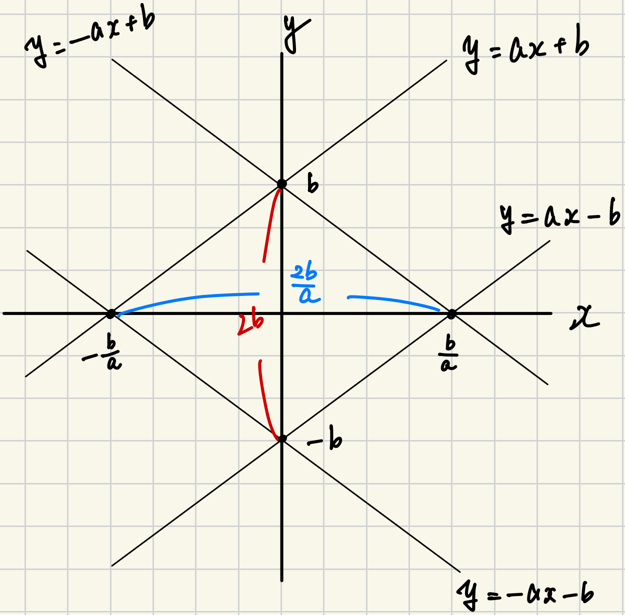
求めるのはCPの長さなので

$CP = 10-(5\pi-10) = \underline{20-5\pi}$ cm

2025. 07. 12 (土) こたえ

4つの直線 $y = ax + b$, $y = ax - b$, $y = -ax + b$, $y = -ax - b$ で囲まれる四角形の面積を、a, bを用いて表しなさい。(ただしa>0, b>0とする)

出典:2022 江戸川女子 B推薦



左図のようなひし形になる.

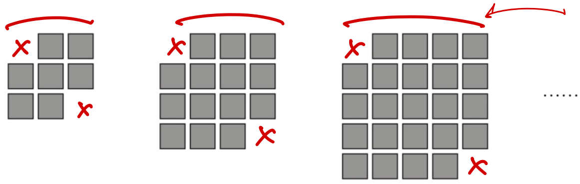
面積は

$$2b \times \frac{2b}{a} \times \frac{1}{2} = \frac{2b^2}{a}$$

2025. 07. 14 (月) こたえ

問 1　下の図のように，同じ大きさの色のついた正方形を規則的に並べて，1 番目の図形，2 番目の図形，3 番目の図形，……と呼ぶことにします。次の問に答えなさい。

1列の個数は
n番目なら $(n+2)$ ある



1 番目の図形　　2 番目の図形　　3 番目の図形

(1)　5 番目の図形について，並んでいる正方形の個数を求めなさい。

$(5+2)^2-2 = $ 47個

(2)　n 番目の図形について，並んでいる正方形の個数を n を用いて最も簡単な式で表しなさい。

$(n+2)^2-2 = n^2+4n+2$

(3)　254 個の正方形が並んでいるのは何番目の図形ですか。

出典:2023 尚絅学院 A日程

$n^2+4n+2 = 254$

$n^2+4n-252 = 0$

n は定数と分かっているのに
因数分解しづらい場合
⇓
平方完成　がオススメ

$n^2+4n+4 = 252+4$

$(n+2)^2 = 256$

$n+2 = \pm 16$

$n = 14,\ -18$　$(n>0$ より$)$

$n = 14$　⇒　14 番目

2025. 07. 18 (金) こたえ

以下のルールにしたがって、左から順番に数を並べる。

ルール1　1番目と2番目は1とする。
ルール2　3番目以降は左の数とその左の数を足した数とする。

1, 1, 2, 3, 5, 8, ……

フィボナッチ数列!!

このとき、次の問いに答えよ。

(1) 10番目の数を求めよ。
(2) はじめて1000を超えるのは何番目の数か。
(3) 1000番目まで並べたとき、3の倍数は全部で何個あるか。

出典:2021 京都橘

(1)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, ...

答 <u>55</u>

(2)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55,
11 12 13 14 15 16 17
89, 144, 233, 377, 610, 987, 1597, …

答 <u>17番目</u>

(3) 列の数字を3で割った余りに注目する

1 1 2 0 | 2 2 1 0 | 1 1
1, 1, 2, 3 | 5, 8, 13, 21 | 34, 55,
2 0 | 2 2 1 0 | 1
89, 144 | 233, 377, 610, 987 | 1597, …

4つおきに3の倍数が現れる

よって

1000 ÷ 4 = <u>250個</u>

2025.07.22(火)こたえ

Xさん、Yさん、Zさんの3人の所持金について、次の(ア)〜(ウ)の3つのことがわかっています。

(ア) YさんがZさんに1000円渡すと、Yさんの所持金はZさんの所持金の $\frac{5}{4}$ 倍になる。
(イ) Xさんの所持金はYさんとZさんの所持金の合計よりも50円多い。
(ウ) Xさんの所持金の $\frac{1}{4}$ はZさんの所持金よりも50円多い。

次の問いに答えなさい。

問1 Yさんの所持金をy円とします。(ア)を利用して、Zさんの所持金をyの式で表しなさい。
問2 3人の所持金の合計を求めなさい。

出典:2021 札幌光星

z円として

問1：(ア)より $y-1000=\frac{5}{4}(z+1000)$

$\downarrow$

$z=\frac{4}{5}y-1800$ (円) ①

	前	後
Y	y	$y-1000$
Z	z	$z+1000$

1000円

$\frac{5}{4}$倍

問2：Xさんの所持金をx円として

代入して

(ウ)より $\frac{1}{4}x=z+50$

$x=4z+200$

$x=4(\frac{4}{5}y-1800)+200$

$\downarrow$

$x=\frac{16}{5}y-7000$ ②

xもzもyの式で表せた

(イ)より $x=(y+z)+50$ これに①.②を代入して

$\frac{16}{5}y-7000=(y+\frac{4}{5}y-1800)+50$

これを解いて $y=3750$

①に代入 ⇒ $z=1200$

②に代入 ⇒ $x=5000$

よって3人の合計は $5000+3750+1200=$ 9950円

2025.07.28(月) こたえ

1次関数 $y = -\dfrac{3}{5}x + 3$ において、yの変域が−6≦y ≦6であるときのxの変域を求めよ。

出典:2023 法政大 推薦

求めるのは x の変域である!!

$y=-6$ のとき $-6 = -\dfrac{3}{5}x + 3 \Rightarrow x = 15$

$y=6$ 〃 $6 = -\dfrac{3}{5}x + 3 \Rightarrow x = -5$

よって $-5 \leqq x \leqq 15$

2025.09.29(火)こたえ

一次関数y=ax+bでxの変域が$-2 \leqq x \leqq 5$であるとき、yの変域は$\frac{5}{2} \leqq y \leqq 6$である。
ab<0とするとき、2a+bの値を求めよ。

出典:2021 国学院久我山

・$a>0$のとき $b<0$ 変域より $x=-2$のとき $y=\frac{5}{2}$

$x=5$のとき $y=6$

⇓

よって $a=\frac{1}{2}$、$b=\frac{7}{2}$ だが、これは $b<0$ に反する

・$a<0$のとき $b>0$。変域より $x=-2$のとき $y=6$

$x=5$のとき $y=\frac{5}{2}$

⇓

$a=-\frac{1}{2}$. $b=5$ でこれはok.

よって $2a+b=2\times\left(-\frac{1}{2}\right)+5=\underline{4}$

2025.07.30(水) こたえ

3点(a, b), (b, a), (5, 5)をすべて通る直線の式を求めなさい。

出典:H29 豊島岡女子

直線の傾きは $\dfrac{a-b}{b-a} = \dfrac{a-b}{-(a-b)} = -1$

(5.5)を通るので、 $y = -x + 10$

2025.07.31 (木)

(10) 弘君がいるクラス 40 名が，5 点満点の小テストを受けたところ，右の表のような点数の分布となり，平均点は 3.5 点となった。このとき，a , b の値を求めよ。

階級	度数
0	1
1	3
2	5
3	a
4	b
5	11
計	40

・人数の合計より $1+3+5+a+b+11=40$

$\downarrow$

$a+b=20$ —①

・合計点数 3.5×40 = 140点 より

$0\times1+1\times3+2\times5+3\times a+4\times b+5\times11=140$

$\downarrow$

$3a+4b=72$ —②

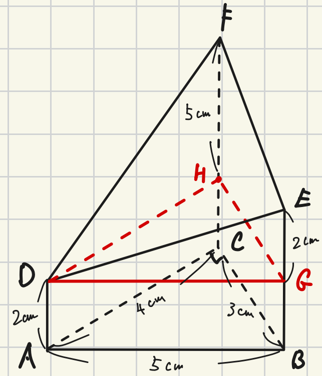
出典:H30 弘学館

①，②を連立させて　$a=8$，$b=12$

2025.08.01 (金) こたえ

図のように、AB=5cm, BC=3cm, CA=4cmの△ABCを底面とする立体ABCDEFがある。3辺AD,BE,CFは底面に垂直で、AD=2cm, BE=4cm, CF=7cmである。
この立体の体積を求めよ。 ※∠ACB=90° であることは使って良い

出典:H28 国学院久我山



三角柱 DGH−ABC と 四角すい D−FHGE に分ける。

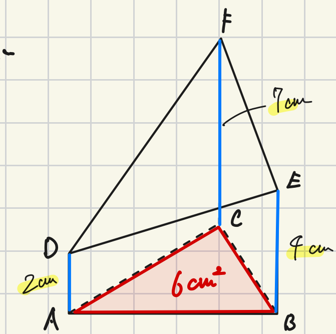
$$(4\times3\div2)\times2 + \{(5+2)\times3\div2\}\times4\times\frac{1}{3}$$

$$= 12 + 14 = \underline{26\,\text{cm}^3}$$

別 三角柱を切断している立体なので

$$\underbrace{6\,\text{cm}^2}_{底面積} \times \underbrace{\frac{2+4+7}{3}}_{高さの平均}$$ で求められる

底面積 × 高さの平均



2025.08.03(日) こたえ

5．ある水槽を満水にするのに蛇口Aだけで水を入れると90分かかる。また，同じ水槽を満水にするのに蛇口Bだけでは120分かかる。あるとき両方の蛇口を同時に開いて水を入れ始め，しばらくたった後に蛇口Bから毎分出る水の量を半分にし，さらにその5分後に蛇口Aから毎分出る水の量も半分にしたところ，60分で満水になった。このとき，蛇口Bから毎分出る水の量を半分にしたのは水を入れ始めてから何分後か。

出典:H30 関西学院高等部

満水時の水の量を a L として．

蛇口Aは毎分 $\frac{a}{90}$ L，Bは毎分 $\frac{a}{120}$ L のペースで水を出す．

求めたい時間を x 分後（Bから出る量を半分にした時間）として

$$\underbrace{\left(\frac{a}{90}+\frac{a}{120}\right)\times x}_{\text{最初のペース}}+\underbrace{\left(\frac{a}{90}+\frac{a}{240}\right)\times 5}_{\text{Bのみ半分}}+\underbrace{\left(\frac{a}{180}+\frac{a}{240}\right)\times(55-x)}_{\text{A, Bが半分}}=a$$

$$\frac{7a}{360}x+\frac{11a}{720}\times 5+\frac{7a}{720}\times(55-x)=a$$

$\times 720$
$\div a$

$$14x+55+7(55-x)=720$$

$$7x=280$$

$$x=40 \quad よって$$

40分後

2025.08.05 (火) こたえ

右の表は、ある弁当を電子レンジで加熱するときの時間の目安を表しています。
表の加熱時間が、電子レンジの出力に反比例するとき、あてはまる時間は何分何秒か。

電子レンジの出力	加熱時間
500W	4分30秒
600W	
1500W	1分30秒

$\times\frac{6}{5}$　　$\times\frac{5}{6}$

出典:2023 栄北 第1回

500W → 600W

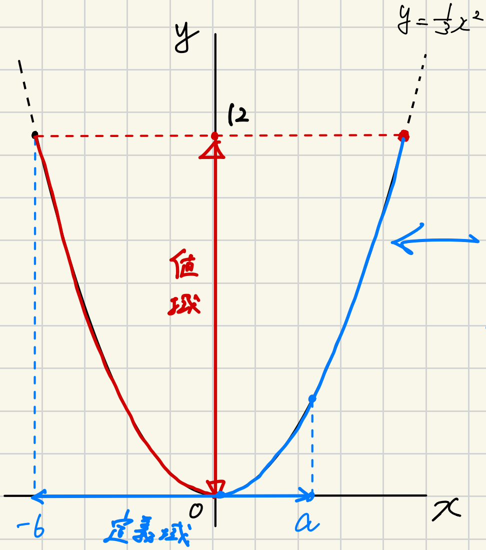
$\frac{6}{5}$倍　より　加熱時間は　$\frac{5}{6}$倍

4分30秒 = 270秒 $\xrightarrow{\times\frac{5}{6}}$ 225秒 = 3分45秒

2025.08.15(金) こたえ

関数 $y=\frac{1}{3}x^2$ のグラフにおいて定義域が$-6 \leqq x \leqq a$のとき、値域は$0 \leqq y \leqq 12$であるという。このとき、aがとりうる値の範囲を不等式で表しなさい。

出典:2023 茗溪学園



$y=\frac{1}{3}x^2$の値域が$0 \leqq y \leqq 12$となるためには

$x=a$の点はこの青線上のどこかにあればよい。

($x=0, 6$も含む)

よって $\underline{0 \leqq a \leqq 6}$

2025. 08. 16 (土) こたえ

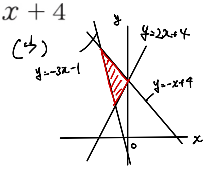
(2) 次の（ア）〜（エ）について，3つの直線で囲まれた部分が三角形となるものに○，ならないものに×を記入しなさい。

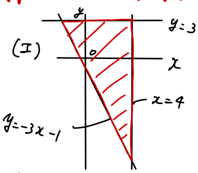
× （ア） $y = 2x - 3$，$y = -3x - 1$，$y = 2x + 4$　　2直線が平行になるので ×

× （イ） $y = \frac{1}{2}x + \frac{5}{2}$，$y = -3x - 1$，$y = 2x + 4$　　交点の座標 (−1, 2) を この直線が通るので ×

○ （ウ） $y = -x + 4$，$y = -3x - 1$，$y = 2x + 4$

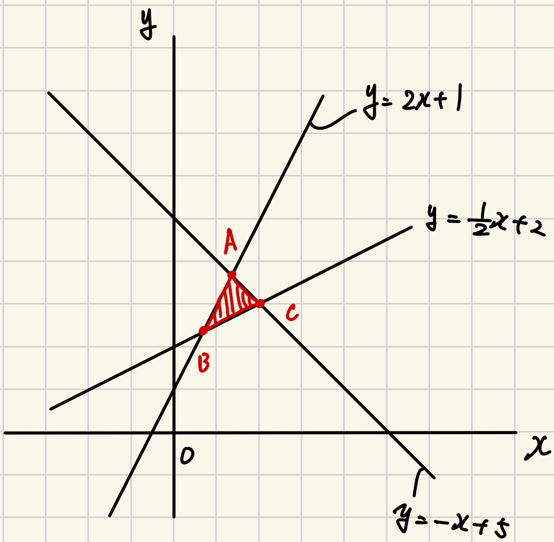
○ （エ） $x = 4$，$y = -3x - 1$，$y = 3$





(3) 放物線 $y = ax^2$ が3つの直線 $y = 2x + 1$，$y = -x + 5$，$y = \frac{1}{2}x + 2$ で囲まれた部分を通るとき，a のとる値の範囲の中で最も大きい値を求めなさい。

出典:2024 九州国際大付属



上の △ABC が囲まれた部分.

それぞれの交点の座標は

A$\left(\frac{4}{3}, \frac{11}{3}\right)$　B$\left(\frac{2}{3}, \frac{7}{3}\right)$　C$(2, 3)$

⇓　$y = ax^2$ が各点を通るときの それぞれの a の値は

A $a = \frac{33}{16}$，B $\underbrace{a = \frac{21}{4}}_{最大}$，C $a = \frac{9}{4}$

よって $\underline{a = \frac{21}{4}}$

※ 見た目からも、外側にある 点Cは候補から外れる!!

2025.08.17(日) こたえ

問２　３年Ａ組 19 人と３年Ｂ組 20 人対象に，ある日の家庭学習の時間を調べました。表１と表２は各組の結果をそれぞれ度数分布表に整理したものです。次の問に答えなさい。

時間（分）	階級値	度数（人）	仮平均との差
以上 0 ～ 未満 30	15	2	−60
30 ～ 60	45	3	−30
60 ～ 90	75	5	0
90 ～ 120	105	6	30
120 ～ 150	135	x 3	60
計		19	

表１　３年Ａ組

時間（分）	階級値	度数（人）	仮平均との差
以上 0 ～ 未満 30	15	2	−60
30 ～ 60	45	4	−30
60 ～ 90	75	7	0
90 ～ 120	105	6	30
120 ～ 150	135	1	60
計		20	

表２　３年Ｂ組

(1)　表１において，120 分以上 150 分未満の階級の度数 x と相対度数をそれぞれ求めなさい。割り切れない場合は，小数第３位を四捨五入すること。 $x = 19-(2+3+5+6) = 3$

より. $3 \div 19 = 0.157 \fallingdotseq \underline{0.16}$

(2)　表１と表２において，中央値の属する階級の階級値をそれぞれ求めなさい。 19人の中央 → 10人目　20人の中央 → 10.11人目

$\boxed{表1}$ <u>75分</u>　$\boxed{表2}$ <u>75分</u>

(3)　表１と表２から読み取れることのうち，以下の文章が正しいものには○，そうでないものには × をつけなさい。

①　0 分以上 30 分未満の階級の相対度数は，３年Ａ組と３年Ｂ組で等しい。

度数は同じだが.合計人数が異なるため　×

②　平均値は，３年Ａ組のほうが３年Ｂ組よりも大きい。

×

③　最頻値は，３年Ａ組のほうが３年Ｂ組よりも大きい。

A組：105分，B組：75分 より　○

出典:2021 尚絅学院 A日程

② 75分を仮平均として

Aの平均は $75+((-60)\times 2+(-30)\times 3+0\times 5+30\times 6+60\times 3)$

$= 75 + 150 \div 19$

Bの平均は $75+((-60)\times 2+(-30)\times 4+0\times 7+30\times 6+60\times 1)$

$= 75 + 0 \div 20$

ここを見れば大小が分かる

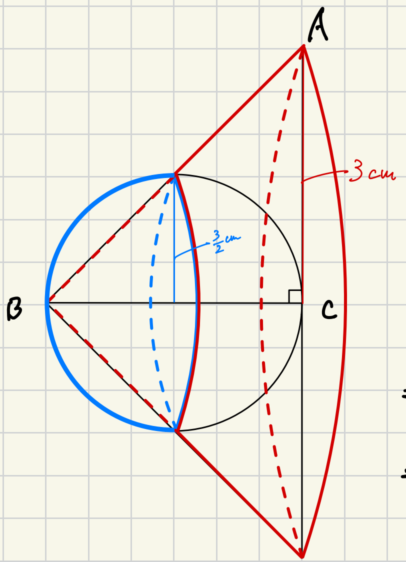
⇓

Aの方が大きい

2025.08.25(月) こたえ

次の図は、∠Cを直角とする直角二等辺三角形ABCと辺BCを直径とする半円をつないだものであり、AC＝BC=3cmである。この図形を直線BCを軸として1回転してできる立体の体積を求めよ。

出典:2025 青雲



求める立体の体積は

半径$\frac{3}{2}$cmの半球

＋ 円錐を半分の高さで切ったもの

(円錐台)

$$\frac{4}{3}\pi\times\left(\frac{3}{2}\right)^3\times\frac{1}{2}+\left\{9\pi\times3\times\frac{1}{3}-\frac{9}{4}\pi\times\frac{3}{2}\times\frac{1}{3}\right\}$$

$$=\frac{9}{4}\pi+\left\{9\pi-\frac{9}{8}\pi\right\}$$

$$=\frac{81}{8}\pi\ \text{cm}^3$$

2025.08.26(火)こたえ

関数$y=x^2$において、xの変域が$a \leqq x \leqq b$のとき、次の問いに答えよ。

(1) $a=-4$, $b=3$のとき、yの変域を求めよ。

(2) a, bはともに-5以上5以下の整数とする。

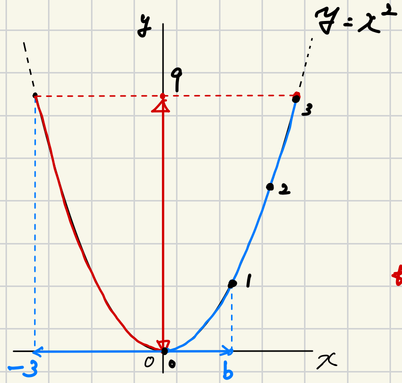
① $a=-3$のとき、yの変域が$0 \leqq y \leqq 9$となるような定数bの個数を求めよ。

② (yの最大値)−(yの最小値)$=9$となるa, bの組は何個あるか。

出典:2025 明治学院 第1回

(1) xの変域 $-4 \leqq x \leqq 3$ より $\underline{0 \leqq y \leqq 16}$

(2) ①



$-3 \leqq x \leqq b$ で $0 \leqq y \leqq 9$

左図より bは青線上のどこか

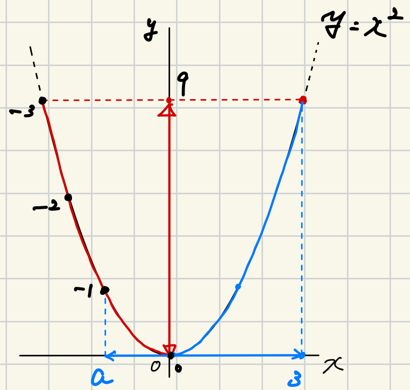
→ $b=0, 1, 2, 3$ の $\underline{4個}$

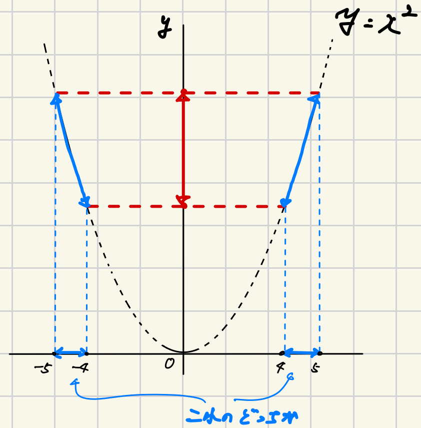
★ $(a, b)=(-3, 0)(-3, 1)(-3, 2)(-3, 3)$ の4組

② yの変域の範囲が9となるのは次の2パターン

・$0 \leqq y \leqq 9$ となるとき

・$16 \leqq y \leqq 25$ となるとき





$b=3$のとき… aは赤線上のどこか

→ $(a, b)=(0, 3)(-1, 3)(-2, 3)(-3, 3)$ の4組

もしくは★の4組，ただし$(-3, 3)$は重複 → 計7組

$(a, b)=(-5, -4), (4, 5)$ の2組

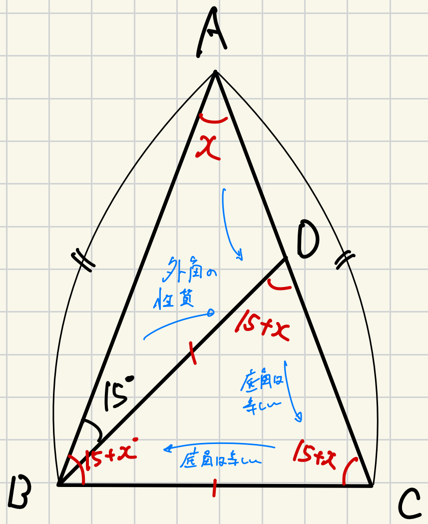
合計 $\underline{9組}$

2025.08.29(金)

図のようなAB=ACである二等辺三角形ABCがあります。辺AC上にBC=BDとなる点Dをとり、∠ABD=15°のとき、∠BACの大きさを求めなさい。

x°とおく

出典:2021 春日部共栄 第1回



左図のようになる

△ABCの内角に注目して

$$x + (15 + x) + (15 + x) = 180°$$

$$3x + 30 = 180$$

$$\angle x = 50°$$

これはテストに出る！